

健康福祉審議会障害者分科会資料

令和 3 年 2 月 22 日

資料1

第2回 加賀市健康福祉審議会 障害者分科会の  
質問について

令和2年度 第2回 加賀市健康福祉審議会 障害者分科会 資料内容についてのご意見・ご質問

【質問者 舞谷委員】

該当箇所				ご意見・ご質問の内容	回答
NO	資料	ページ	項目		
1	2	6	問13 外出するときに困ること	身体障がいの方が求めることと、知的・精神障がいの方が求める支援には違いがあり、前者はインフラの整備、後者は人的サポート体制を整える必要があるのではないのでしょうか。	ご指摘のとおり、障がいの種別によって必要とされる支援の内容に違いがあり、バリアフリー化のほか、移動支援や、ヘルプマークの配布や周知、障がいへの理解の促進など、幅広い支援が必要であると考えております。
2	2	8	問18 利用しているサービス	障害福祉サービスを使用していない人の割合が最も多かったのは、サービスを使う必要がないのか、使えるサービスがないのか、サービスの使い方がわからないのかなど理由は何かとお考えでしょうか。	障害福祉サービス（介護給付、訓練等給付）を利用しなくても、ご自身の力やご家族の支援で日常生活ができる人が多いと考えております。また、障害福祉サービスは利用していないが、他の制度（医療費助成や日常生活用具の給付、介護保険サービスなど）を利用している人も多いと考えております。
3	2	10	問20 悩みや困ったことの相談先 問21 情報の入手先	相談先や情報の入手先で、行政や相談員からが少なかったことについての考察と今後の対策について教えてください。	家族や友人・知人など、身近な人が相談先や情報の入手先となっている割合が大きいことから、先ず身近な人に聞いてみて、分からなかった場合に行政や支援機関に問い合わせるケースが多いと考えられます。また、新聞やニュース、行政の広報誌から情報を知る割合も大きいことから、広報や各支援機関への適切な情報提供が大切であると考えております。
4	2	12	問25 災害発生時に助けてくれる人 問26 災害時に困ること	災害時の対応は急務と思います。今回の大雪などもどうされていたのか気になります。	今回のアンケート結果を、防災対策課等にも共有し、防災施策につなげていきたいと考えております。なお、今回の大雪では、外出できずに生活に困った場合に、民生委員に連絡して対応していただいた人もいました。
5	2	13	ご意見（自由記載）	難聴者の意見がありましたが、加賀市が導入した遠隔操作システムを利用して手話通訳のサポートができるようにするといったのではないかと思います。	以前ご紹介した、遠隔操作ロボット「アバター」は、コロナ禍において病院や施設での面会に利用されておりますが、手話通訳をする場合、モニター画面が小さく見にくい画面を大きくするなどの改良が必要だと考えております。なお、ふれあい福祉課では、タブレット端末を使用して遠隔での手話通訳を実施しております。
6	2			今回のこの結果を受けての重点課題や、すでに着手されたことなどがあれば教えてください。	重点課題としては、自由記載（P12～P15）でグループ分けした項目（支援関係、障がい者理解関係、就労関係ほか）が全て該当すると考えております。これらは、従前からの課題がほとんどであるため、課題解消のための取組みについても、ほぼ障がい者計画に掲載している既存の事業が当てはまりますが、今回の結果や回答者のご意見を念頭に置いて、事業を実施していく必要があると考えております。

令和2年度 第2回 加賀市健康福祉審議会 障害者分科会 資料内容についてのご意見・ご質問

【質問者 竹内委員】

該当箇所				ご意見・ご質問の内容	回答
NO	資料	ページ	項目		
1	3	6	4 計画の策定体制	計画の策定は、障がい者本人及び家族の意見を踏まえるとあるが、踏まえられていないと思う。意見やニーズを聞いて反映させてほしい。	障がい者（児）に対するアンケート調査は実施いたしましたが、新型コロナの影響で、意見を聞く会の開催はできませんでした。今後、計画の最終案の調整にあたり、障害者分科会等のご意見をできる限り反映したいと考えております。
2	3	28	安心なまちづくり	スマートシティ推進事業について、視覚障がい者はスマホの操作はとても難しい。高齢者の講習が始まるようだが、視覚障がい者にも特別な配慮がほしい。	視覚障がい者の生活教室において、スマホ操作の個別訓練を行っていますが、障がいのある人向けのスマホ教室についても、スマートシティ課と協議を行いたいと考えております。また、日常生活用具の「情報・通信支援用具」として、スマートスピーカーなどのスマート機器も給付対象として検討したいと考えております。
3	3	29	読書環境の整備	読書環境の整備とありますが「デージー図書」の普及と代筆、代読業務も付け加えてほしい。	「加賀市読書活動推進条例」（制定予定）の施策については、今後検討される予定であり、竹内委員のご意見についても提言していきたいと考えております。
4	3	30	地域福祉の推進	ボランティアの養成とあるが、ボランティアの姿が目に見えない。	ボランティア等の人材確保は難しい課題ですが、地域活動支援センターの機能強化事業や、加賀市社会福祉協議会（加賀市ボランティアセンター）との連携などによりボランティアの養成や人材確保を進めたいと考えております。
5	3	36	スポーツ・レクリエーション教室等開催事業	障がい者のスポーツ大会の参加はとても重要です。障がい別に教室等の開催をもっと増やしてほしい。	3障がい連絡協議会でのスポーツ・レクリエーションの開催や、他機関が実施する大会の案内など、様々な事業を活用して、スポーツできる機会を増やせないか検討していきたいと考えております。
6	3	57	サービス見込量確保のための方策	同行援護でヘルパー不足とありますが、事業所のヘルパーを当てにするのではなく、ガイドヘルパー専門の事業所を立ち上げてほしい。	ガイドヘルパー専門の事業所の立ち上げは、人材の確保や運営できる見込みがないと難しいため、ヘルパー不足を補うためには、様々な資源（制度、事業所、人材）の活用を検討する必要があると考えております。
7	3	75	レクリエーション活動等支援	レクリエーション活動等支援とあるが、障がい種別に応じた開催にしてほしい。	スポーツ・レクリエーションの実施については、ご意見をいただきながら、工夫してまいりたいと思います。

令和2年度 第2回 加賀市健康福祉審議会 障害者分科会 資料内容についてのご意見・ご質問

【質問者 上野委員】

該当箇所				ご意見・ご質問の内容	回答
NO	資料	ページ	項目		
1	2	12~15	ご意見（自由記載）	意見というより“感想”なのですが、数字で表された統計結果も重要だと思いますが、言葉で「私はここで困っている」という皆さんの声が文で表されている方が「そういうところで困っているんだな」と伝わりました。障がいのある人当人や支えている家族の方たちの、障がいで「ここで困っている」「この障がいだと、こういうことが起こりやすい」のような、いろいろな方の“声”が集められた、ブックレット、読み物（30～50ページ程度）の出版は実現しないものかと思います。	ブックレットではありませんが、今回のアンケートでご記入いただいたご意見（自由記載）は、第6期計画の巻末の資料として掲載し、製本したいと考えております。
2	1	4	質問者 竹内委員 No.5 作品展の開催	（出品者数を増やすことが大事とのご意見に関して） 4、5年前くらいは、作品展に出品する案内が来ていましたが、もう来なくなりました。理由は何ですか。	以前は、障がいのある人の「こころふれあうみんなの作品展」を開催していましたが、高齢者と障がいのある人の「かがりび作品展」や、特別支援学級の児童・生徒の「ふれあい展」といった作品展が開催されていることから、「こころふれあうみんなの作品展」については、事業の見直しにより平成29年度を最後に終了しておりますので、ご了承いただきますよう、お願いいたします。

令和2年度 第2回 加賀市健康福祉審議会 障害者分科会 資料内容についてのご意見・ご質問

【質問者 安田委員】

該当箇所				ご意見・ご質問の内容	回答
NO	資料	ページ	項目		
1	3	32	2 じりつと社会参加の基盤づくり	<p>・合理的配慮という言葉自体を、現場（保育）の職員で知らない人、理解していない人が、まだまだいます。立場が上の職員から全職員へ研修を行わないと、子どもがかわいそうです。</p> <p>・きめ細かい対応ができるよう、保育現場での職員人数を増やしてほしいです。今、社会人の息子は、保育園や小学校の頃のことを聞くと「ろくなことがなかった。」と話しています。良いこともたくさんあったと思いますが、合理的配慮がなければトラウマだけが強く残ります。</p>	<p>・「加賀市における障がいを理由とする差別の解消の推進に関する対応要領」においては、課長相当職以上の地位にある者（監督者）は、監督する職員に対して、合理的配慮を適切にするよう指導することとされています。また、市長は、職員に対し、必要な研修を行うものとする、としていますので、管理職への研修について、総務課人事係と協議したいと考えております。</p> <p>・保育現場の職員人数の増加については、子育て支援課に提言したいと思います</p>
2	3	33	こども育成相談センター事業	<p>ペンギンケア（県と市関係機関が連携した保育園視察）等の回数が少ない。多人数での視察で、普段の姿が見られない。VTRでの視察も取り入れてはどうか。</p>	<p>ふれあい福祉課からも、こども育成支援会議（こども育成相談センター主催）に出席しておりますので、安田委員のご意見を提言したいと思います。</p>
3	3	68	発達障がい者等に対する支援体制の見込み	<p>市内にペアレントプログラムやペアレントトレーニング等支援プログラムの実施機関がないため、その確保が必要である、という課題をどうクリアしていきますか。</p>	<p>当面は、県が開催する研修の案内や、市外から講師を招いて講座を開催するなど想定しておりますが、支援体制の確保については、くれよんめいとさんのご意見もお聞きしながら進めていきたいと考えております。</p>
4			その他	<p>普通の高校に通っている障がい児の就労支援の充実。まだまだ悩んでいる話を多方面から聞きます。</p>	<p>具体的な悩み事について情報をいただければ、「就労支援体制検討会」（市、基幹相談支援センター、相談支援事業所から、こまつ障害者就業・生活支援センター、ハローワーク加賀、加賀商工会議所、就労移行支援事業所）にも情報共有させていただき、支援策の検討を行いたいと思います。</p>